



スズキ労連

『2019年総合生活改善』取り組み方針を決定。
第71回中央委員会開催!

スズキ労連は1月18日(金)17:00より、グランドホテル浜松にて第71回中央委員会を開催しました。スズキ労連の各加盟組合から中央委員88名(男性69名、女性19名)・傍聴者35名(男性32名、女性3名)が参加し、第一号議案役員辞任の件、第二号議案役員補充の件、第三号議案2019年総合生活改善の取り組み方針(案)の件、第四号議案規程新設の件の審議を行い、全て満場一致で決定しました。各組合では、今後この方針に基づいて職場討議を行い、独自の要求を組み立てていきます。

本中央委員会の女性参加比率は、中央委員 21.5% 傍聴 8.5%でした。

各組合の女性参加者は自動車総連男女共同参画 新・第1次アクションプログラムに基づき、中央委員、傍聴とも労連の女性組合員比率の13.6%を努力目標としています。今回は多くのスズキ労連女性委員にも参加頂きました。



1.賃金引上げ

①平均賃金要求

すべての単組は、労働の質的向上、格差是正の必要性、物価上昇等の要素を総合的に勘案し、自らの目指す賃金の実現及び、賃金課題の解決に向け、賃金カーブ維持分を確保した上で、3,000円以上の賃金引き上げに取り組む。
なお、賃金改善分の設定にあたっては、賃金カーブ維持分を含めた引き上げ額全体を強く意識し、基準内賃金の引き上げにつなげる。直接雇用の非正規労働者についても、原則として、時給20円を目安とした賃金改善分を設定する。

②個別ポイント絶対水準要求

- 自らの目指す賃金水準の実現に向け、技能職若手労働者(若手技能職 30歳・高卒・勤続12年・技能職に準じた職種(販売部門は部会で設定した職種を適用)・3人世帯とする。)及び中堅労働者(中堅技能職 35歳・高卒・勤続17年・技能職に準じた職種(販売部門は部会で設定した職種を適用)・4人世帯とする。)における現行水準を維持し、水準向上や格差・体系是正を図るべく、各単組の状況に応じ、絶対水準の要求に取り組む。
- 各組合は、以下の目指すべき水準を参考に自社に合った水準への引き上げを目指す。
技能職若手労働者 基準Ⅰ 239,000円 基準Ⅱ 220,000円 基準Ⅲ 215,000円
技能職中堅労働者 基準Ⅰ 272,000円 基準Ⅱ 248,000円 基準Ⅲ 240,000円

③企業内最低賃金協定の締結

18歳・・・160,000円以上

④年齢別最低保障賃金

- 各組合は、以下の目指すべき水準を参考に自社に合った水準への引き上げを目指す。
20歳 163,000円 25歳 182,500円 30歳 212,000円
35歳 235,000円 40歳 253,500円 45歳 262,500円

2.年間一時金

- ①月数 年間5ヶ月以上を基準とする。最低でも昨年獲得実績以上とする。
- ②要求基礎 要求の基礎は、賃金引上げ後の基準内賃金とする。
- ③最低保障制度 40%以上を基本とする。

3.働き方の改善 (総実労働時間短縮を含む)

- ①所定労働時間1952時間未達組合は、その達成に向けて取り組む。
- ②有給休暇取得向上に取り組む。
- ③所定外労働時間の削減に向けて、36協定の年間特別延長時間の引き下げの取り組みを計画的に進める。
- ④改正労働基準法において、中小企業に対して適用猶予とされている月間60時間超の割増率引き上げについても、早期適用を図るべく取り組みを進める。
- ⑤労働時間に関する労使協議の場の設置など、取り組みの基盤整備を推進する。

4.非正規労働者に関する取り組み

- ①組合員化した非正規労働者の労働諸条件の維持・向上に向けての取り組み
- ②企業内最低賃金協定の締結・水準の引き上げ
- ③非正規労働者の雇用のあり方と、労使でのコンプライアンスの点検を行う。

5.政策制度課題への取り組み

【労連/単組が行う活動】

- 自動車総連本部主催の政策勉強会への参画
- 自動車総連作成(発信) ツールを活用した組合役員
- 組合員への政策理解の促進
- 連合/地方連合等、上部団体の活動への参画

【取り組み日程】

- 要求書提出 スズキ労組 2月13日(水)
スズキ労組以外 2月18日(月)~20日(水)
- 統一交渉日 第一回目 2月18日(月)~22日(金)
(第二回目以降は交渉ゾーンを設定)
- 回答指定日 業種ごとの課題を整理した上で、製造部品輸送部門は3月内決着を、販売部門は4月末決着を基本に取り組む。

「2019年総合生活改善の取り組み」スローガン採択
みんなでチャレンジ！魅力ある職場づくりと
豊かな生活を実現しよう。



本中央委員会は昨年9月から12月までの活動について報告を行い、2019年総合生活改善の取り組み方針を審議・決定する場となります。

取り巻く環境

世界経済は、米国の自国優先主義、保護貿易主義に対する中国やEUの報復措置による世界貿易戦争の勃発や、英国のEU離脱問題などによって不確実性が高まっており、IMFの世界経済見通しでも2018年の世界全体の成長率見通しがこれまでの3.9%から3.7%へと下方修正され、OECDも2019年見通しを3.5%から0.2%引き下げています。

日本経済は、2012年11月以降の景気回復・拡大が続いており、昨年12月には戦後最長と並ぶ73ヵ月に達する可能性があるなど、緩やかながら息の長い景気回復となっています。しかしながら、家計の消費支出は前年同月の0%近辺で推移しており、消費者態度指数も良し悪しの判断目安となる50の値を下回る水準で推移しているなど、個人消費は依然として力強さを欠いています。加えて、2019年10月には消費税増税が控えており、個人消費の更なる落ち込みが懸念されます。

日本の外交問題に目を向けると、米国との貿易交渉に加え、韓国との関係悪化の懸念、ロシアとの北方領土問題、北朝鮮の動向など、懸念材料が山積しています。

従って、日本経済が安定的かつ持続的な成長を遂げるためには、国内外の様々な変動要因に耐えうる個人消費が経済をリードし底支えする内需主導の経済体質に転換する強固な日本経済を構築していくことが不可欠であり、そのためにも今回の総合生活改善の取り組みを確実に強力に推進していかなければなりません。

賃金改善の取り組み

私たち労働組合が有する大きな強みの一つは、「労使関係を確立している」ということです。労使は、異なる立場から、労働諸条件向上のみならず、業績や企業の枠を超えた経済、産業、労働市場等についての関心を共有しながら、生産性の向上とそこから得られる成果の公正な配分を実現するために徹底した協議を重ねる、緊張と相互信頼にもとづいた関係を構築してきました。そして今次取り組みでは、この労使関係を確立している私たちだからこそ「底上げ・底支え」「格差是正」に昨年に引き続き継続して取り組み、さらに強める・拡げることが求められます。

私たちは2014年から2018年の総合生活改善の取り組みにおいて、「底上げ」「格差是正」を着実に前進させ、賃金引上げの流れを波及する一定の役割を果たすことが出来たと考えています。特に2017年からは「大手追従・大手準拠からの構造転換」などに重点をおいて、底上げを強調して取り組んできました。春闘の歴史上、物価上昇がほとんどない中で、多くの組合で改善分を獲得したのは、初めてのことです。「底上げ・底支え」「格差是正」の実現に向けて労使協議を進め、「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」の流れの継続・定着・前進をはかり、「賃金は上がるもの」という常識を取り戻していくことが重要です。そして、これを自動車総連、スズキ労連内でさらに深め、非正規労働者も含めた社会全体に広げていく必要があります。

あわせて、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正循環」についても継続して取り組む必要があります。取引条件や価格は賃金だけではなく、働き方でも働く者とながってきます。自分達の働き方の見直しや長時間労働の是正を通じ、自分の職場だけでなく、企業を超えて、仲間の働き方の改善につなげて行くことは、まさに労

働運動ならではのアプローチです。もちろんその前提の取り組みとして、職場労使による働き方改革を一層強化していくべきことは言うまでもありません。長時間労働是正や同一価値労働同一賃金など雇用形態間の均等待遇の実現などをはじめとする「働き方改革」も、私たち労働組合の立場で先頭を切って進めなければなりません。今次取り組みにおいては、強固な日本経済の構築に向け、生産性三原則の実践による「人への投資」を実現すべく、賃金の引き上げ、「底上げ」、「格差是正」に取り組んでいきたいと思

います。具体的には、スズキ労連が一体となって取り組める要求基準として、3,000円以上の賃金改善に取り組むことを提案したいと思います。生産性の向上は経済成長の源泉ですが、適正な成果配分がなければ、真の経済成長にはつながりません。そして、私たちが目指している生産性向上運動は、単純な効率化を目標としたものではありません。人間尊重を基本として、経済・企業の発展のためには、生産性向上に関する経営と労働の協力が必要であり、そのことが労働者の経済的・社会的地位の向上をもたらす、という考え方に基づくものです。今次取り組みにおいても経営側は、国内外での競争激化や保護貿易主義の台頭による世界レベルでの貿易戦争の拡大など、先行き不透明感の増大によって、コスト・労務費の削減など「人への投資」を抑制してくることが予想されます。しかし、それでは個人消費の活性化につながりません。と同時に、働く者の意欲や活力、そして希望が失われ、企業競争力の最大の源泉を削ぐことにつながります。経営者には、皆の努力で生み出した付加価値を働く者に適正に配分するからこそ良いサイクルが生まれ、働く者はそう信じるからこそ地に足をつけて懸命に努力し、ひたすら頑張れるということを主張し、企業の経営環境に厳しさが深まる今だからこそ、経営として最優先で考えるべきことは「人への投資」であり、このことは間違いなく将来への活きた投資につながるものであるとのスタンスで今次取り組みを確実に前進させなければなりません。

一方、私たち自動車産業を取り巻く環境は、自動運転、電気自動車あるいは電動化へのシフト、つながる車など、想定外のスピードで対応が求められる変革の時期に入っています。スズキ労連加盟の企業内では、この100年に一度と言われる変革が、排ガス抜き取り検査での不正等の対応に追われ、若干薄れている感じがありますが、他社は研究開発を粛々と進め、2020年の東京オリンピックに向けて自動運転などのアピールをしてくと予想されます。経営者はもちろん、私たち労働組合も、労働組合の立場で、働き方、人財の育成を含め考えていかなければならないという危機感を持っています。

組織強化の取り組み

4月に行われる第19回統一地方選挙では「田口 章」を静岡県議会に、「岩田 くにやす」を浜松市議会に、また、7月の第25回参議院議員選挙でも「いそぎき てつじ」参議院議員を何が何でも政治の場に送り出さなければなりません。国、地方のいずれも厳しい情勢となっており、当落をかけた闘いになることが予想されます。本日ご参加の皆さん中心に、これまで以上に、ご支援・ご協力の輪を広げて頂くようお願い申し上げます。

結びに、これから始まる2019年総合生活改善の取り組みを、スズキ労連一丸となってチャレンジし、より実りあるものとするためにも、本日の中央委員会にご出席の中央委員全員の積極的な参加をお願い申し上げます。ともに頑張りましょう。ありがとうございました。

すべての議件で可決・承認頂きました。

【議件】(提案者)

①役員辞任の件(渡部事務局長) 挙手にて可決 **満場一致**

②役員補充の件(松浦会長代行) 挙手にて可決 **満場一致**

役員定数: 変更なし 欠員: 副会長1名

役員補充 補充人数: 副会長1名

任期: 47期末まで

役員補充選挙

開票結果 投票総数86票 有効投票85票

無効0票 白票1票 信任84票 不信任1票

立候補信任

新役員 ベルソニカ労働組合 嶋 将吾

副会長就任あいさつ

大変重い任務ではありますが、皆様のご期待に沿えるよう前任同様精一杯頑張っております。簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

③2019年総合生活改善の取り組み方針(案)の件

(渡部事務局長) 挙手にて可決 **満場一致**

④規程新設の件(渡部事務局長) 挙手にて可決 **満場一致**

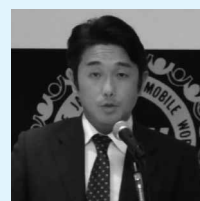
会計処理規程 第6章 固定資産、備品の管理について満場一致で可決しました。



渡部事務局長



松浦会長代行



小松副事務局長



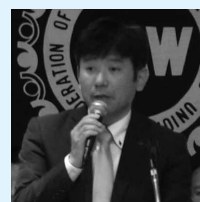
副会長に就任した
ベルソニカ労働組合 嶋 将吾



山本会計監査人



山本副会長



昇副会長



いそざき哲史 参議院議員

【報告承認事項】(報告者)

①47期中間活動経過報告(渡部事務局長) **拍手にて承認**

②47期中間会計決算報告(小松副事務局長) **拍手にて承認**

③47期中間会計監査報告(山本会計監査人) **拍手にて承認**

【決意表明】

①第19回統一地方選挙 決意表明(山本副会長) 拍手にて承認

②第25回参議院議員選挙 決意表明(昇副会長) 拍手にて承認

【来賓挨拶】

自動車総連組織内議員 いそざき哲史 参議院議員

【顧問挨拶】

スズキ労連特別顧問

古川 正明 静岡県労働金庫 理事長

スズキ労連政治顧問

田口 章 静岡県議会議員

スズキ労連政治顧問

徳光 卓也 浜松市議会議員

スズキ労連政治顧問

岩田 くにやす 市議会議員候補予定者



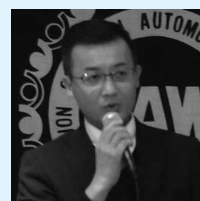
古川特別顧問
静岡県労働金庫理事長



田口章
静岡県議会議員



徳光卓也
浜松市議会議員



岩田くにやす
市議会候補予定者

【各委員の皆さん】(☆印は委員長) 敬称略

議長: 新村 京子(スズキ労組本社支部)・佐藤 勇一郎(スズキ部品秋田労組)

資格審査委員: ☆伊藤 真将(スズキ労連中執)・仲村 明洋(スズキ労組磐田支部)

谷川 敏也(スズキ労組大須賀支部)・島野 隆行(小楠金属・熱処理)

議事運営委員: ☆野沢 卓志(スズキ労連中執)・佐藤 統(スズキ新潟販売労組)

小河 栄二(岐阜スズキ労組)・河合 史貴(スズキファイナンス労組)

選挙管理委員: ☆飯尾 能将(スズキ労組本部)・山口 豊(スズキ輸送梱包労組)

松田 大海(スズキ部品秋田労組)・松原 直(岐阜スズキ労組)

猿喰 昭博(スズキ販売労組)

書記: 和田真由奈(スズキ販売労組)・宮本 進(スズキ納整労組)

司会: 中島 大輔(スズキ労連中執)



議長団 右) 佐藤勇一郎 中央委員
左) 新村京子 中央委員

全国の様々な施設でスズキ車が活躍!

2018年度自動車総連福祉カンパ

3台の寄贈を実施致しました。

スズキ労連分の2018年度車両寄贈をすべて行うことが出来ました、ご協力を頂きました皆様ありがとうございました。

スペースX福祉車両を群馬県「愛光会」に寄贈

2018年11月12日(月)に群馬県太田市にあります社会福祉法人 愛光会 愛光園デイサービスセンターに、自動車総連 福祉カンパ車両寄贈を行いました。車両はスズキ スペースX ハイブリッドX 車いす移動車を寄贈しました。施設では、デイサービスとして日々多くの利用があり、車イスの利用者も多く、通院や訪問時に車が足りなくなってしまう為、今回の車両寄贈を大変喜んで頂きました。記念写真も和やかな雰囲気の中で撮影できました。



スペースX福祉車両を浜松市「第二南風」に寄贈

2018年11月15日(木)に浜松市南区にあります社会福祉法人 ほなみ会 第二南風(特別養護老人ホーム)に、自動車総連 福祉カンパ車両寄贈を行いました。車両はスズキスペースX ハイブリッドX 車いす移動車を寄贈しました。特別養護老人ホーム専用の車が無い為、利用者が通院する際などにデイサービスから車を借りており、急な使用の場合や他の利用と重なってしまう場合は車が無く困っているとのことでした。車いす利用者の多い第二南風の皆さんに今回の車両寄贈を大変喜んで頂けました。



ソリオGを福岡県「わかくさ八幡」に寄贈

2018年12月13日(木)に福岡県にあります児童福祉施設「わかくさ八幡」にて小型自動車ソリオGの車両寄贈式を行いました。児童福祉事業を行っている「わかくさ八幡」では、利用者の送迎や支援に車両が不足しており、ソリオGが、利用者の通所に大変便利と喜んでいただけました。



賃金について学ぼう!

スズキ労連賃金セミナーを開催

2018年12月15日(土) SUN会館3Fにてスズキ労連賃金セミナーを開催しました。加盟組合の組合役員61名(男性57



セミナー風景



公益財団法人
日本生産性本部
村上和成氏

名、女性4名)の参加をいただきました。講師に公益財団法人日本生産性本部 村上和成様を迎え、人事賃金制度の本質を理解する、賃金制度概論、自社賃金の分析・診断方法、賃金改定の交渉と実施などを学びました。これから始まる総合生活改善の取り組みに向けて理解を深めることができたという意見が多くありました。今後も組合役員向けのセミナーを開催していきたいと思えます。

働きやすい社会を作ろう!

スズキ労連政策制度研修会を開催

2019年1月19日(土) SUN会館3Fにてスズキ労連政策・制度、政治研修会を開催しました。加盟組合の組合役員69



公益財団法人
富士社会教育センター
田尻裕昭氏



セミナー風景

名(男性65名、女性4名)の参加をいただきました。講師に公益財団法人富士社会教育センター田尻裕昭様を迎え労働組合と政治活動、公職選挙法の基本、政治活動・選挙運動の実践のポイントを学びました。研修会後段ではスズキ労連政治顧問、田口章県議会議員、徳光卓也市議会議員、岩田くにやす候補予定者の3人による活動報告とディスカッションを行い、組織内議員について学びました。



どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連
労働相談
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。



こんな時にはお電話を!

0120-500-073

*月~金 9:00~18:00

相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : komatsu@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇

<http://saw.gogo.tc/>

*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙
共通パスワード… saw2007

【編集後記】

仕事のモチベーション(やる気)を高く持続し続けることは企業が存続していく上で大変重要なことです。仕事以外の私生活が充実することによって新たな気づきやイメージに繋がって仕事に良い影響を与えるのではないのでしょうか?なかなか新しい事を始めるのはハードルが高いので、まず職場など身近な人の趣味などを参考にして新たな一歩を踏み出してはどうかと思います。老子も言っていますが「知らないことを知る」知っていても(じゅうぶんには)知っていない(とみずから考える)ことが最上である。知らないのに知っているとするのが欠点である。欠点を欠点とするゆえにこそ、欠点とはならない。自分の欠点を知っていればそこに注意することで欠点を消さなくても済むことになり気づかなければ欠点のままになってしまう。是非とも気づきたいものです。 まーつー